

平成 30 年 4 月 12 日

日本博物館協会
館園長各位

ICOM 京都大会 2019 参加に関する意向調査について

公益財団法人日本博物館協会

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当協会の活動にご支援を賜り誠に有難うございます。

かねてよりご案内のとおり、2019 年 9 月に開催予定の ICOM（国際博物館会議）京都大会の開催まで、1 年半足らずとなりました。

世界から博物館の専門家が集う同会議は、日本の博物館全体にとりましても、世界の博物館関係者との交流のなかで、我が国の博物館の実情を紹介するとともに、さまざまな課題解決の糸口を探る絶好の機会であり、できるだけ多くの博物館関係者にご参加いただき、今後の博物館振興に資する場として充実を図りたいと考えております。

一方で、財政や組織的状况等により、こうした国際会議への職員等の派遣に課題をお持ちの会員もおられることと存じます。つきましては、ICOM 京都大会に関する皆さまのご意向を把握させていただき、できるだけ多くの方の参加が可能になるよう、努力して参りたいと思います。

業務ご多忙の折に誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

*全国科学博物館協議会に加盟されている会員の皆さまには、同協会から同趣旨の調査依頼が届いていることと存じます。重複する項目も多く誠に恐縮ですが、ご協力賜われれば幸いです。

ICOM 京都大会 2019 意向調査

館名	
本調査ご回答者名	氏名 (所属)
ご回答者 e-mail	
直通電話、FAX	Tel Fax

以下の設問にお答えください

- (ICOM への加盟について) 団体会員 加盟していない
 加盟していないが職員に個人会員がいる

- 1 現時点で、ICOM 京都大会 2019 に参加の意向はお持ちですか。
- 参加予定 (館園・社として職員・スタッフを派遣予定 / 誌友は個人として参加予定)
*参加予定の場合、予定人数をお聞かせください。 _____ 人程度
 - 参加の予定はない
 - 検討中
- 2 ICOM 京都大会に日本の博物館として期待することをお聞かせください (複数回答可)。
- 基調講演等、世界の博物館の潮流についての知見が得られる
 - 自分の所属する博物館の抱える課題に対する解決のヒントが得られる
 - 国際委員会等での発表や海外の専門家との交流が業務の参考になる
 - 博物館見本市 (ミュージアム・フェア) の見学が業務の参考になる
 - 京都の博物館や文化財を視察する機会として活用できる
 - エクスカーション (見学会) への参加が業務の参考になる
 - その他 (自由記述)

- 3 1で「参加の予定はない」「検討中」とお答えの方、参加予定に至らない理由をお聞かせください (複数回答可)。
- プログラムの正式公表がまだで、判断できない
 - 業務多忙のため
 - 全日程の参加は難しいため
 - 参加登録費*や旅費等にかかる予算が見込めないため
 - 設置主体や出張決裁者の理解・了承が得難いため
 - 講演や発表が英語のみの場合、参加しづらい
 - その他 (自由記述)

[Empty box]

*京都大会の参加登録費は現在未定ですが、2016年ミラノ大会では、ICOM会員が早割で全日程参加を申込んだ場合、約45,000円でした。京都大会でも、ミラノ大会と同程度の設定を検討しています。

4 1で「参加の予定はない」「検討中」とお答えの方、参加可能となる望ましい方策についてお聞かせください（複数回答可）。

- 1日パス等、一部日程での参加が可能で参加費の割引制度があること
 - 参加登録費や旅費の助成があること
 - 国からの通知など所管組織への案内があること
 - 宿泊施設の斡旋など出張手配の支援があること
 - 日本語で参加可能なこと（講演や説明に同時通訳がある、日本語での発表が可であるなど）
 - 全国博物館大会等、例年の行事との連携があること
 - その他（自由記述）
- [Empty box]

この調査表は日博協ホームページからもダウンロードできます。
回答は下記日博協事務局宛までお送りいただくようお願いいたします。
ご協力ありがとうございました。

回答締切：5月11日（金）

回答送付・問合せ先：日本博物館協会 （担当：仲谷、宮戸）
(FAX) 03-5832-9109 (Email) webmaster@j-muse.or.jp